

「未来さわやか・・・」

自然と共生する

あぶくま拠点都市」

の実現に向けて③

超高齢社会への挑戦

超高齢社会とは

小野町の人口構造が、少子高齢化へと進行している様子については、広報おのまち7月号でお知らせしたところですが、どの程度まで進んでいるのか、統計資料などをもとに検証します。

小野町の総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は、小野町が誕生した昭和30年では4・8%でしたが、その割合は年々増加の一途をたどり、平成12年の国勢調査では23・7%、本年1月1日現在では25・9%に達し、町民の4人に1人が65歳以上という、超高齢社会へと突入しました。

年齢3区分構成割合の推移(H17年度以降は推計値)

